

事業番号	事務事業名	林業研究クラブ補助金	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
03955	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	林務係	担当者・シート作成者	阿部 良文
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等	鏡野町補助金等交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町林業グループ連絡協議会に対する助成金を支給する。 構成団体:みどり会 奥津林業研究会 望春会 すずのこ会 泉農林業研究会 明日絵会	合併前、旧苫北地区(3カ町村)においては林業改良普及協議会による助成制度があり運営、情報交換の場を設けてお互い切磋琢磨しており、鏡野地区においては町独自の補助制度により運営補助をおこなっていた。平成18年度7団体が協議会を設けたため全体に対しての助成制度を開始、旧町村単位で実施していた補助金を一本化し縮減して実施。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 林業研究グループ	ア 林業研究グループ団体数	団体	見込 実績	6 6	6 6	6 6	6 6	6 6
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア グループが相互に協力し、森林林業に関する情報を収集	ア 研修会、情報交換会等の開催数	回	目標 実績 達成率	6 6 100.0%	6 5 83.3%	6 3 50.0%	6 6 100.0%	6 6 100.0%
イ 林業経営の合理化・地域林業の発展を図る	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 研修会、情報交換会の開催	ア 研修会、情報交換会等の開催数	回	目標 実績 達成率	6 6 100.0%	6 5 83.3%	6 3 50.0%	6 6 100.0%	6 6 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 02		大事業 中事業					事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		26	01	林業研究クラブ補助金			
予算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	決算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	480	400	400	400	400		一般財源	480	400	400	400	400		
合計	480	400	400	400	400		合計(A)	480	400	400	400	400	0	

財源名称	従事正職員人数	1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間	40	40	20	40	40	-20			
	人件費計(千円)(B)	135	140	67	134	134	-73			
	最終予算額	400 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)	615	540	467	534	534

主な支出事業内容(予算)	補助金	400 千円	主な支出事業内容(決算)	補助金	400 千円

事業番号	03955	事務事業名	林業研究クラブ補助金	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
一部の団体を除き、林業研究グループ会員の高齢化が進み、新規加入者もいないため、後継者の育成が必要である。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
平成21年度当初予算編成において、補助金単価の減額が行われ、その後同額で推移している。(H24年度1団体解散、R1より1団体活動休止)
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
事業の存続、活動に対する十分な助成の要望がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由説明	林業振興のためには、林業事業体だけではなく、林家の育成も図る必要があり、各グループの活動により林家の技術向上が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている		
目的 妥当性 評価	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由説明	木材価格の低迷により、立木販売収入だけでは各グループの活動経費が賅えず、公的な助成を行う必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
目的 妥当性 評価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由説明	対象は町内全域の林業研究グループの組織する団体であり、適切である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由説明	若年層の参加を期待するが、いずれの団体も高齢者が主であり向上余地は乏しい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している		
有効性 評価	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 影響がない	理由説明	各林業研究グループ単独の活動になり、知識・技術の伝承が困難になる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある		
有効性 評価	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	理由説明	事業としては補助金の交付のみであり、改善余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない		
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由説明	協議会参加団体数に応じ、一律の金額を補助しており、削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
効率性 評価	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方を見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由説明	補助金の交付、研修会への参加等、必要最低限の業務である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由説明	町内全林業研究グループが構成する協議会であり、公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	林業の低迷を反映して、会員は固定化・高齢化の傾向にあり、活力ある活動のためには新規会員の勧誘が望まれる。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 後世に伝えていくべき技術等を伝承する手段を、新規会員の勧誘方法等模索しながら検討する必要がある。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
林業の担い手、後継者問題の解決。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							